

くよみ通信

No. 04 ・ 2019/03/01

ミズバシヨウ発見! ハワサビもありました

元青陵の森愛好会の大沼さんの記憶を頼って、2月21日、たくさんあったといわれる、ミズバシヨウを探しました。

十数年前に、仙台女子商業高校から発行されている「女子商の森」のパンフレットには、現在の青陵の森で見られる植物が十数種類も掲載されていますが、ミズバシヨウについての、記述はありません。

草深い沢を分け入って、ついに発見! わずかに5株ほどですが、若葉が水たまりから顔を見せていました。

周囲は、広くはないですが湿地帯になっていて、ハワサビも、生えていました。

1月20日メディアアテックにて、「平成30年度住民参画型事業」の成果の一例として、本会の活動が紹介されました。木村会長が参加し、交流を深めました。活動の写真、くよみ通信なども展示。

今後の活動予定

3/28(木)

「青陵の森自然観察」

- 集合 10:00 仙台青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可能
- 植物の芽生えを観察します。
- 観察路の片づけもします。

4/18(木)

「カタクリを鑑賞する会＋くよみ31年度総会」

- 集合 10:00 仙台青陵中等教育学校
- 会員のみ参加可能
- カタクリの鑑賞と自然の恵みをちょっとだけおすそわけしてもらいます。
- 13:00～、吉成市民センターで、総会と春の味覚を味わいます。昼食持参。

ネットでも「くよみ通信」が見られます
<http://www.sendai-shimincenter.jp/aoba/yoshinari/>



↑・ミズバシヨウの幼葉が、5株ほどありました。その上の丸い葉がハワサビ。八十川先生が食べてみたら、甘くて辛かったそうです

どうか生き残っていたようで、これから大事に少しずつでも増やしていけたらと思います。

中等教育学校とのミーティングをしました

当日、青陵中等教育学校内の教室をお借りし、今後の活動を話し合いました。

青陵中等教育学校も参加されました。村上事務長の替わりに、五十嵐教頭先生が参加してくださいました。

当面の活動計画と、長期の



↑・青陵中等教育学校の一室をお借りしたミーティングが、青陵中等教育学校の初めての参加を得て行われました

目標の概要が討議されました。

大きな課題、危険な数十本の倒木

中でも大きな課題が、森のいたるところにある倒木です。数十本はあり、中には遊歩道をふさぎ、頭上から襲われそうな、危険な状態にあるものもあります。

我々、くよみの会の手には負えない、プロの伐採技術者が必要です。そこを、どうかしない内は、一般市民が安全に森を楽しむことができません。

早急な対策と、予算のめどが必要です。



↑・右は森のあちこちに見られる倒木。上は集いの広場でも、宙釣りになって、今にも落ちそうな倒木が見られる



くよみ郷土研究会では、新入会員を募集しています